

井戸端 通信

Vol.28 発行 平成17年9月26日

〒930-0096
富山市舟橋北町7-1
富山県民生涯学習カレッジ内
自遊塾倶楽部広報部

北陸三県生涯学習カレッジ講師
交流講座「自遊塾」の全国的動向と
県民自主企画講座の全国的動向と
「自遊塾」のこれから

富山県に「自遊塾」が生まれ育って11年、生涯学習の成果を県民自ら企画・運営し、学びを深める「自遊塾」のようなスタイルの講座は、ここ数年、全国各地に燎原の火のような広がりを見せています。山梨県、大分県、兵庫県など、山梨県では、夏の特別講座として、歩き方教室やキレイに歩けるナチュラルウォーキング、親子で学ぶ日常生活の作法とマナー、おうちで学ぶための100のひみつ小学校高学年版といった親子で楽しめる講座が実施されています。

このような全国的な動きのなか、福井県では、昨年、県民自主企画講座「友愛塾」が立ち上がり、本年6月には、「北陸三県生涯学習ボランティア講師交流会」が企画されました。「自遊塾」も招待を受け、岡岸塾長、松本副塾長が交流会に参加し交流を深めました。

交流会では、富山県から「名水探険発見」（岡岸塾長）、石川県から「植物観察六園編く移ろいゆく庭園の色との出会い」、福井県から「福井の伝統野菜を知るう」の模擬授業が行われ、それぞれ



北陸三県生涯学習ボランティア「ボランティア講師の輪和」を広げ、

れ地域に根ざした講座が紹介されました。

これら講座のテーマには、県民自主企画講座が、全国均一のカルチャー教室的なものではなく、地域の風土や文化や知恵といったものに根ざしていることが示されています。

また、各県の特徴として、福井県からは16講座でスタートした「友愛塾」を、さらに発展させていきたいといった意気込みと、同種のボランティア講師の交流・連携を県内の枠を越えて深めていきたいの思いが強く感じられました。

石川県では、石川県民大学卒業後、自らテーマを定め、専門家による論文指導を受けて学びを深め、「石川の博士」の認定を受ける仕組みを生かして、その後県民自主企画講座開講にチャレンジするといったシステムが軌道に乗り始めていました。



意見交換会では、岡岸塾長から、「カルチャー教室と違い、講座での交流が年度を越えて結びついていく喜び」、松本副塾長から、「ボランティアによる講座の取り組みから新たな出会いが生まれ、県内に広くボランティア活動の場が広がっていくこと」などの経験が発表され、他県

平成17年度 県民教授会役員紹介

職名	氏名
塾長	岡岸 喜義
副塾長	松本 慎一
幹事	三辺 咲子
	加藤 利雄
	木内 静子
	串田 和博
	熊木 保子
	庄司 俊雄
	若林 昌人

どうぞよろしくお願いたします。

からの参加者の関心を集めていました。福井県の県民講師からは、資格のない分野で新たな講座を立ち上げたことに対する不安の声も出されましたが、そのような分野こそ、生涯学習の活動を通じて定着・発展していくことが期待されている分野なので自信を持って頑張って欲しいとの意見が寄せられました。

県民カレッジ自遊塾は、この種の講座の先駆けとして全国的な注目を集めています。県内各地に同種の講座が生まれてきていること、日本一の生涯学習県として様々な学習機会が充実していること、10年の実績などをふまえて、さらに新たな展開を進めることが求められるように思われます。幸いにも、県民教授会役員の方々を中心として、新たな自遊塾の方向を探る「自遊塾FV(フューチャー・ビジョン)検討委員会」も自主的に立ち上がり、「自遊塾」の今後の展開に注目と期待が寄せられています。

(文責：県民カレッジ自遊塾事務局)

平成17年度 新講座紹介

今年度新たに開設された講座について、塾生の声を紹介します。

旧立山街道を歩き、石仏と語ろう！

遠藤 俊 秋

私たちが富山に住むものの魂のよりどころ立山。その立山に神・仏が宿ると信じられた時代、人々は峰本社への「神定道」に列を成しました。今回、岩井講師の案内で、その由緒ある道を辿ります。ひっそりと佇む野仏に、心が和みます。レンズを通して、その穏やかな微笑をとらえることもよし、お花を供えるもよし、路傍の草花の名を調べ、万葉を偲ぶもよし、



えやはいぶきのさし
蓮り「かくとだに
も草：」

道中、人生を語るもよし
一生の友人が見つかるかもしれせん
等など、これらすべて自遊塾なり。さて、先達・岩井講師がどのような「出会いと感動」を準備してく



れているでしょうか。次回を心待ちにしているこの頃です。

あなたも出来るデジカメセラピー

朝野 恵 美

デジカメは数年前より家にあったけど触ったことがない、友達からメールで美しい写真が送られてきたけど自分も送れるか等、それぞれの思いをもって受講した私達。先生の「大丈夫です、必ず撮れるように、そして送れるようになります。」との力強い言葉。まったくの素人から、少しやっているけどきちんと学びたい人まで8名、その中に先生のご主人もいらして、いろいろと参考になることを教わったり、お世話していただいたりと大助かりです。



わいわいと和やかな雰囲気です。3回目の受講まで終えました。「上手に撮れていますよ」の褒め言葉に背を押してもらいながら、この講座が終了するころにはデジカメ通になっていることを夢見ています。

チンドンで愉快に演奏!

二村 文人

私の母が娘時代に、雨の中を一人で歩いていて、転んで膝を擦りむいてしまった。途方に暮れていると、ちんどん屋さんの奥さんが、自分の家へ連れて行って、着ているものを洗い、傷の手当をしてくれた

そうだ。祖母は大層感謝して、母を伴ってお礼に行ったという。今でも、母はその時のことをよく口にしている。昭和戦前の懐かしい風景である。その息子が五十歳を過ぎて、チンドン太鼓を習うというのも、何かの縁だろう。



歌と文化で学ぶ韓国

鉾井 文明

講座案内をみて受講を即決した私、期待通りの内容に大満足です！元々私にとっては、「近くて近い」存在だった韓国でしたが、本講座で折田先生がパソコンやAV機器を駆使なさって紹介いただく音楽や生活情報を通して、より一層、韓国の情緒性豊かな表現力・国民性に惹かれていきます。本講座を通して韓国への理解を更に深め、どのような背景から、この素晴らしい芸能・文化が創造されるのか、自分なりに追究し続けていこうと思えます。



はじめての雅楽(龍笛編)

山本 明子

「雅楽には縁遠いもの」そういうことを教えてもらえる場があることに驚き、受講を決めました。

雅楽は縁遠くても、龍笛はきつと小学校から馴染み深いリコーダーと同じで、誰にでも簡単に吹けるものと思ってしまうが、とにかく難しい！音を出すことですら出来ない日々が続いています。吹けるようになった自分をイメージして、練習あるのみです。

この講座が終る頃には、雅楽がもっと身近なものに感じられたらいいなと思います。



ドイツの魅力にふれよう

本田 悦人

二〇〇五/六は、日本におけるドイツ年である。各地でさまざまなイベントが開催される。毎月一回、新川みどり野高校では自遊塾「ドイツの魅力にふれよう」が開かれている。素敵な平岡先生とハンサムなマーティン先生との絶妙なコンビの指導のもと、時間の経つのも忘れる。ドイツ総領事館・商工会議所等から数多くの資料もいただいた。アルファベットに始まり、自己紹介をし、野ばら・もみの木を歌い、ドイツ料理の語彙に舌鼓。こんなすばらしい講座は他人には紹介したくはなかったのに。



県民教授のボランティア活動紹介

ボランティアによる講座運営のほか、県民教授を中心に多彩なボランティア活動の輪が広がっています。

14歳の挑戦を支援して

越中山野草を楽しむ

加藤 利雄

私の地元・井波町の花雪割草は、十人以上前の山野草ブームですっかり自生群落の姿を消してしまつた。そのため、2年前より、雪割草の保護・復活の運動を進めている。その活動をさらに進めるため、「越中山野草と温泉を楽しむ」の講座で知り合った方や地元の自然愛好家の方々と「閑乗寺公園の会」を結成し、雪割草を種から育てる活動ほか、さらに多くの皆さんに自然を楽しんで愛する気持ち、自然を大切に思う気持ちを育てたいと考えて活動している。総合的な学習で、「井波の良さはこれだ」をテーマに学ぶ井波中学生と一緒に雪割草について学ぶのもその一つである。今年の3月には、「越中山野草と温泉を楽しむ」の受講者の協力も得て、南砺・雪割草まつりを井波木彫りの里で開催した。その他、要請があれば砺波ロータリークラブ例会やナチュラリスト研修会、中央植物園友の会などでも自然に関する講演活動を行っている。



PTA活動などでも指導

藤で色紙をつくる

熊木 保子

県民教授になる為には、3つの難関があります。
県民教授になる為には、3つの難関があります。
(1) 企画書の提出。(2) その企画書が無事通過する事。(3) 塾生の人数の達成。この3点をクリアしないと成れないのが県民教授です。

私の場合は、平成11年度より県民教授をさせて頂いております。塾生も1年生なら、教授も1年生です。徐々に伝達技術が向上していくと同時に、婦人会、PTA、老人クラブ等から講師の依頼が入るようになりました。
自遊塾の素晴らしさは、やはり県内全域に広報が行われる所にあるのではないでしょう。

自遊塾の素晴らしさは、やはり県内全域に広報が行われる所にあるのではないでしょう。



「とやま夢紙芝居大学」 思ひを展開

伸ばそう・そして育てよう

子どもの創造性を

佐伯 喜美子

青少年の健やかな育成を願い、紙芝居などの制作活動や体験発表を通して子ども達の創造性を高めようとして取り組んでいます。今年度、その活動を基に5月、2年に1度開催している「とやま夢紙芝居大学」を企

画し、紙芝居研究の第一人者、堀田積氏(京都学園大学人間文化学部教授)を招き、塾生、さらには保育士、図書館司書の方々の参加を得て、紙芝居文化について海外活用状況と実技を学びました。7月には、青少年「ひまわり」ウォーク&つどいを企画・運営し、250名参加。交流会では、小学生が総合学習で学んだ紙芝居や大表義昌県民教授の指導でジャグリングに挑戦。世代間で「心と体のパワーアップ」を図りました。また今回、全国自作視聴覚教材コンクール社会教育部門で、紙芝居「みそすり地蔵」が図らずも入選し、9月東京霞が関で表彰式があります。視聴覚教材で紙芝居が評価されたことに感謝しています。



中学校の総合学習支援

ソバ好奇心

庄司 俊雄

私が「そば文化」を学習する講座を開設して今年で7年目。その間に稲垣栄子県民教授という立派な隣人を得て、利賀村内で蕎麦畑を開き、各講座卒業生は「富山そば研究会」なる同好の会に集まり、例会で腕を磨く一方、県内各地でのイベントの中で「そば打ちの裏方」としてボランティアで活躍しております。その内一つに昨年、

某中学校の総合学習支援教室に各講座卒業生が合同で招かれました。両県民教授の卒業生が中学生に、そば打ちの楽しさと、手打ちそばの美味しさと、物作りの快感・喜びを伝えました。今の中学生には死語に成っていると勝手に思っていた、そば打ちから「礼儀を学んだ」という感想まで中学

生から頂き、一同感激しました。一言付け加えると、当日の講師達の中に、この中学の昔の卒業生も参加しておりました。



2005とやま講師岳アドベンチャー ウォーキング冒険塾

ウォーキング冒険塾

松原 和仁

自遊塾が1995年に開設されて10周年になりました。第一期講座の一つとしてウォーキング冒険塾も始まりました。自遊塾のおかげで私のこの10年間の人生や生活が変わってしまいました。大きな広がり、人々との出会い、交わりなど、振り返れば私の人生のターニングポイントとなりました。ウォーキング冒険塾を卒業したOB会の会員が約200名あり、毎週活動を行っていき、OBの中でさらに様々なつながりができて、グループなどをつくりあげています。特に発展したのは「立山登山マラニック」です。今年は8回目で全国から選手が260名、ボランティアが250名参加します。又、今年第一回目の「栗師岳アドベンチャー」も開催しました。本当にウォーキングはこんなに楽しく奥深いものであったのかと思ひ知らされています。



自遊塾と出会って新たな発見 塾生の声を紹介します。

里山でワイワイ自然体験しよう

井上 雅子

「里山で自然体験しよう」という講座に参加してはやく3ヶ月。幼児連れで行けることと小学生の娘にさせたい内容だったので、妹に誘われて受講しました。今まで4回出て娘はすっかり「あそび自然学校」になじみ、毎回楽しみにしています。

昔懐かしいたんぼや小川や裏山などの自然の中で童心に帰って遊ぶところです。教えてもらわなくても、自分ですら楽しんで遊ぶ。だって遊びは自分で考えるものですから。ここはそんな「場」なんですね。



土人形のぬくもりに触れ、

自分でも作ってみよう

村上 澄江

粘土に触るのも初めてで、不安を抱えてのスタートでしたが、机を大きく一つにつなげて、向かい合いながらの和気あいあいの楽しい作業となりました。初回は、土人形の紹介ビデオを見て、土人形の由来や歴史を学び、蛇の目のまるい模様を彩色する厄除けの蛇の目土鈴を作りました。2、3回では天神様やお雛様の型に、厚さ3ミリに伸ばした粘土を内側に押しつけて形を作りました。天神様は、前田家の祖先として菅原道真を大切にお奉してきた県民性が反映され、富山の土人形の中でも数多くの人が残されており、戦前は、多くの家庭でお正月に飾られたそうです。このようなこ

とも学びながら、出来上がった人形を3月にはお雛様を飾るなどして、季節の移ろいを感じることもできることを楽しみにしています。



蕎麦ロマン・技術と

栽培と文化を学ぶ

大塚 裕一

7年前、同僚が打った蕎麦を食べる機会がありました。あまりのおいしさに感動して、いつか自分で蕎麦を打ちたいと思っていました。昨年、自遊塾に「蕎麦ロマン」を見つけ早速申し込みました。道具を買いそろえ、講師の方から手取り足取り、打ち方からゆで方まで懇切丁寧に教えていただきました。自分で打った蕎麦を家族に食べてもらったところ、皆おいしいと言ってくれました。それに気を良くして、以来毎週蕎麦を打っています。今年も引き続き受講して蕎麦打ちの技術を磨いています。2年目の塾生の中では、私を含め3人が9月18日(日)利賀村で「全道協そば打ち段位認定会」で初段を目指し、日々練習に励んでいます。40分という限られた時間内に蕎麦を打ち上げるのはとても難しいことです。練習をする中で蕎麦打ちの奥深さを実感しています。

今後、蕎麦

打ちを通してボランティア活動に参加できればと思っています。



県民カレッジ学遊祭 十月八日(土)開催

自遊塾講座からも多数参加します



学遊祭は、生涯学習に取り組み、県民カレッジに集う県民の交流と発表の機会です。自遊塾の講座からも多数参加します。知事公館では県民カレッジ友の会「雷鳥会」によるお茶会、ハイビジョン学習室ではビデオ上映、富山県生涯学習団体協議会からも多数参加します。どうぞ富山県教育文化会館にお集まりください。

参加を予定している自遊塾の講座を紹介します。

ミニステージ

- ・美顔ツボで目すっきり3歳若く！
- ・会場の皆さんと一緒にペアで行うツボ押しの実技を行います。
- ・チンドンで愉快に演奏！
- ・口上や曲演奏、講座の成果を発表します。
- ・さわやかな空の下で歌いましょう
- ・屋外で唱う日頃の活動をステージに移して発表します。
- ・マイボエム綴る&詠む
- ・自作の詩を趣向を凝らして朗読します。
- ・落語ワンダーランド
- ・高座を設え、落語を一席披露します。

作品展

- ・障で色紙をつくる
- ・デジタルカメラ写真を楽しもう
- ・自然美の転写アート
- ・結びを楽しもう
- ・「越中山野草と温泉を楽しもう」から植物画を出品

展示・ミニ講座の 二講座を紹介しします。

・シユカーアート スイーツを彩る砂糖のアート 県民教授 三 辺 咲子
今年度はカリキュラムを一新したシユカーアート講座。学遊祭へのアプローチもこれまでとは少し異なったスタイルを試みたいと思います。かわいいうちな作品づくりを体験していただくミニ講座と作品展示を併設して、普段の講座の雰囲気を紹介する予定です。また塾生の皆さんとは、ミニ講座を介して、興味を持ったこと、学んだことを人に伝える楽しさ を一緒に学ぶことがテーマとします。ほのかに甘い香りが漂う会場へ、ぜひ足をお運びください。

心がふんわり手作り絵本

県民教授 沢 田 奈美枝

今回はじゃばら絵本を作ります。長い紙を交互に折りたたんで絵本にします。道を一本描いてから、どんどん進んで行く景色を描き込んだり、スタンプをして遊んでも楽しいかと思えます。又、朝顔の種から伸びて行く様子を描いても面白いです。初めて絵本を作る方でも大丈夫なので、どなたでも参加して下さい。尚、材料費は100円となりますのでよろしくお願致します。

ご意見、ご感想、
投稿などお待ちしております

県民カレッジ 自遊塾係

〒930-0098 富山市舟橋北町7-1
TEL 076-441-8403
FAX 076-441-6157
E-mail: admin@tkc.pref.toyama.jp
http://www.tkc.pref.toyama.jp/